

1.	②	11.	③	21.	①	31.	②	41.	④
2.	③	12.	②	22.	①	32.	②	42.	②
3.	④	13.	④	23.	①	33.	④	43.	①
4.	①	14.	①	24.	③	34.	④	44.	③
5.	②	15.	③	25.	③	35.	②	45.	①
6.	①	16.	②	26.	②	36.	②	46.	④
7.	④	17.	①	27.	①	37.	①	47.	②
8.	①	18.	④	28.	④	38.	②	48.	④
9.	②	19.	③	29.	③	39.	②	49.	④
10.	②	20.	①	30.	②	40.	②	50.	②

1.

解答 ②

【解説】

正解は②mindです。mindは、人が考えたり、感じたり、覚えたり、推論したりする能力、すなわち「心、精神、知性」を指します。特に論理的な思考や知性の側面を強調することが多いです。①heartは、愛情や同情といった「感情、心情」の中心を指します。③soulは「魂、精神」で、より宗教的・哲学的なニュアンスを持ちます。④moodは「(一時的な)気分、機嫌」です。

◆補足：mindは動詞としても重要で、「～を気にする、嫌がる」という意味があります。Would you mind opening the window? (窓を開けていただけますか?)。また、bear/keep ~ in mind (～を心に留めておく)やmake up one's mind (決心する)、change one's mind (考えを変える)など、多くの重要熟語で使われます。

2.

解答 ③

【解説】

正解は③「対策」です。measureは、動詞として「～を測る」という意味が基本ですが、名詞としては、問題解決のための「措置、対策」という意味で非常によく使われます。この例文は「政府は経済を改善するための新しい対策を講じた」となります。①「測定」はmeasurement、②「基準」はstandard、④「宝物」はtreasureです。

◆補足：measureは、a measure of success (成功の尺度)のように「基準、尺度」という意味や、a large measure of luck (かなりの幸運)のように「量、程度」という意味も持ちます。take measuresで「対策を講じる」という頻出のコロケーションになります。

3.

解答 ④

【解説】

正解は④「さらに、加えて」です。**additionally** は、前の文で述べたことに情報を付け加えるときに使われる接続副詞で、「さらに、その上、加えて」という意味を表します。**in addition** と同義で、ややフォーマルな響きがあります。**The hotel offers free Wi-Fi. Additionally, guests can use the gym for free.** (そのホテルは無料 Wi-Fi を提供している。加えて、宿泊客はジムを無料で利用できる)。①「しかしながら」は **however**、②「その結果」は **as a result**、③「例えば」は **for example** です。

◆**補足**：**additionally** は、動詞 **add** (加える) の関連語です。形容詞形は **additional** (追加の) で、**additional information** (追加情報) のように使われます。同じく情報を付け加える **furthermore** や **moreover** は、さらに重要な論点を続ける際に使われることが多いのに対し、**additionally** は単に情報を並列的に付け加えるニュアンスで使われます。

4.

解答 ①

【解説】

正解は①**face** です。この動詞は、名詞としての「顔」という意味から転じて、困難や不快な状況に「直面する、立ち向かう」という意味で使われます。**You have to face the reality.** (あなたは現実に直面しなければならない)。②**place** は「～を置く」、③**case** は名詞で「場合、事件」、④**base** は「～の基礎を置く」という意味です。

◆**補足**：**face** は他動詞として「～に直面する」の他に、**be faced with ~** という受動態の形で「～に直面している」と表現することもあります。**I was faced with a difficult choice.** (私は難しい選択に直面した)。

5.

解答 ②

【解説】

正解は②**metal** です。この単語は、鉄、金、銀、銅、アルミニウムなどの「金属」を指します。**a metal box** (金属製の箱) のように形容詞的にも使われます。①**medal** は「メダル」、③**model** は「模型、モデル」、④**material** は「材料、素材」で、**metal** は **material** の一種です。

◆**補足**：**heavy metal** (ヘヴィメタル) のように音楽のジャンルを表したり、**precious metal** (貴金属) のように種類を表したりします。

6.

解答 ①

【解説】

正解は①「一般的に」です。**generally** は、ほとんどの場合に当てはまること、または全体的な傾向として「一般的に、たいてい、概して」という意味を表す副詞です。**Japanese people are generally polite.** (日本人は一般的に礼儀正しい)。②「特に」は **especially**、③「最終的に」は **finally** や **eventually**、④「正確に」は **accurately** や **exactly** が適切です。

◆補足：**generally** は、**in general** や **on the whole** といった表現とほぼ同じ意味で使うことができます。**generally speaking** で「一般的に言えば」という、会話の口火を切るのにも便利な表現になります。

7.

解答 ④

【解説】

正解は④「車椅子」です。**wheelchair** は、病気やけがなどで歩行が困難な人が使用する、車輪 (wheel) のついた椅子 (chair) を指します。**He has used a wheelchair since the accident.** (彼は事故以来、車椅子を使っている)。①「長椅子」は **sofa** や **couch**、②「回転椅子」は **swivel chair**、③「乳母車」は **stroller** や **pram** (英) です。

◆補足：**wheelchair accessibility** (車椅子の利用しやすさ) や **a wheelchair ramp** (車椅子用のスロープ) のように、バリアフリーに関連する文脈でよく使われます。

8.

解答 ①

【解説】

正解は①「日課、決まりきった仕事」です。**routine** は、毎日または定期的に、いつも同じ順序で行われる一連の決まった行動を指します。**daily routine** (日課) がその典型例です。②「規則」は **rule**、③「習慣」は **habit**、④「予定」は **schedule** がより適切な単語です。**habit** が個人の無意識的な癖を指すことが多いのに対し、**routine** はより意識的に行われる一連の作業というニュアンスがあります。

◆補足：**routine** は形容詞としても使われ、「決まりきった、型通りの」という意味を表します。**a routine check** (定期点検) や **routine work** (日常業務) のように使われます。この場合、時に「退屈な、代わり映えのしない」というネガティブなニュアンスを含むこともあります。

9.

解答 ②

【解説】

正解は②「科学的な」です。scientific は、科学の原則に基づいている、あるいは科学に関連する、という意味の形容詞です。scientific evidence（科学的証拠）や a scientific experiment（科学実験）のように使われます。①「歴史的な」は historical、③「地理的な」は geographical、④「文学的な」は literary です。

◆補足：scientific は名詞 science（科学）の形容詞形です。scientist は「科学者」です。接尾辞-ific は「～を生み出す、～にする」という意味を持ち、scientific で「科学（知識）を生み出す」というニュアンスになります。

10.

解答 ②

【解説】

正解は②disability です。この単語は、身体的または精神的な「障害」を指します。接頭辞 dis-（否定）と ability（能力）が組み合わさった形です。The new facility is designed for people with disabilities.（その新しい施設は障害のある人々のために設計されている）。①disadvantage は「不利、不利益」、③disaster は「災害」、④disagreement は「不一致、意見の相違」という意味です。

◆補足：disability の形容詞形は disabled（障害のある）です。learning disability（学習障害）のように、他の単語と結びついて具体的な障害の種類を表すことも多いです。近年では、より中立的な表現として people with disabilities（障害のある人々）という言い方が好まれます。

11.

解答 ③

【解説】

正解は③「合図、信号」です。signal は、情報や指示を伝えるための「合図、信号」を意味します。a traffic signal（交通信号）や a danger signal（危険信号）のように使われます。①「独身の」は single、②「署名」は signature、④「独創的な」は original が適切な単語です。

◆補足：signal は動詞としても「～に合図する」という意味で使われます。He signaled the waiter to bring the bill.（彼はウェ이터に勘定を持って来るよう合図した）。語源はラテン語の signum（しるし）で、sign（標識、しるし）や design（設計する）と関連があります。

12.

解答 ②

【解説】

正解は②「自動的に」です。automatically は、人の操作や介入なしに、機械などが「自動的に」動作することを意味します。また、あることが起これば、考えるまでもなく、あるいは必然的に次のことが

起こる、という意味で「無意識的に、必然的に」と訳されることもあります。The doors open automatically. (そのドアは自動的に開く)。①「熱心に」は enthusiastically、③「正確に」は accurately、④「全く」は absolutely や completely です。

◆補足：automatically は形容詞 automatic (自動の) の副詞形です。語源はギリシャ語の autos (自己) にあり、self-moving (自分で動く) というイメージを持つと分かりやすいでしょう。

13.

解答 ④

【解説】

正解は④achieve です。この動詞は、長期間の努力の末に、目標としていたことや、高い地位、名声などを「達成する、獲得する」ことを意味します。She achieved her dream of becoming a doctor. (彼女は医者になるという夢を達成した)。①acquire は(知識や技術などを)「習得する」、②accomplish は(任務などを)「成し遂げる」、③approach は「～に近づく」という意味です。

◆補足：achieve の名詞形は achievement (達成、業績) です。類義語の accomplish が「任務の完了」に焦点を当てるのに対し、achieve は「目標への到達」に焦点を当てます。a sense of achievement で「達成感」という重要な表現になります。

14.

解答 ①

【解説】

正解は①「経験」です。experience は、何かをしたり、何かが起こったりすることによって得られる知識や技能、すなわち「経験」を意味する不可算名詞です。この例文は「彼は教師としての経験が豊富だ」となります。②「実験」は experiment、③「専門家」は expert、④「期待」は expectation です。

◆補足：experience は、特定の出来事としての「体験」を指す場合は可算名詞として扱われます。I had a strange experience yesterday. (昨日、奇妙な体験をした)。動詞としては「～を経験する」という意味で使われます。

15.

解答 ③

【解説】

正解は③「～と関連している」です。be associated with ~は、二つの物事の間になんかの「関連、つながり」があることを示す表現です。associate は動詞で「～を連想する、～と結びつけて考える」という意味です。Smoking is often associated with various health problems. (喫煙はしばしば様々な健

康問題と関連づけられる)。①「～で覆われている」は **be covered with** ～、②「～に満足している」は **be satisfied with** ～、④「～に精通している」は **be familiar with** ～が適切です。

◆補足：名詞形の **association** は「協会」という意味の他に、「関連、連想」という意味も持ちます。

The company has a close association with a famous university. (その会社は有名な大学と密接な関連がある)。

16.

解答 ②

【解説】

正解は②**trustworthy** です。この形容詞は、**trust** (信頼) と **worthy** (価値がある) が組み合わさった言葉で、その言葉や行動が「信頼するに値する、当てになる」ことを意味します。**a trustworthy friend** (信頼できる友人) のように使います。①**responsible** は「責任感のある」、③**respectable** は「(社会的に) 立派な」、④**reasonable** は「道理をわきまえた、手頃な」という意味です。

◆補足：**trustworthy** は、人が信頼できるだけでなく、情報などが「信頼できる」という意味でも使えます。例：**a trustworthy source of information** (信頼できる情報源)。類義語に **reliable** がありますが、**reliable** は人や物が期待通りに機能するという「信頼性」に焦点を当てるのに対し、**trustworthy** は誠実さや正直さといった人格的な「信頼」に焦点を当てることが多いです。

17.

解答 ①

【解説】

正解は①**consequence** です。この単語は、ある行為や出来事の「(当然の) 結果」を意味し、しばしば悪い結果について使われます。**He must face the consequences of his actions.** (彼は自らの行動の結果に直面しなければならない)。②**conscience** は「良心」、③**conference** は「会議」、④**confidence** は「自信」という意味です。

◆補足：**consequence** と **result** はどちらも「結果」ですが、**consequence** は「論理的な帰結」や「重大な結果」というニュアンスが強いです。**take the consequences** で「結果の責任を取る」という表現になります。形容詞形は **consequent** (結果として起こる) です。

18.

解答 ④

【解説】

正解は④**call in** です。この句動詞は、電話などで専門家(医者、修理工など)を「(自分の場所に) 呼ぶ」という意味で使われます。**We had to call in a plumber to fix the leak.** (水漏れを直すために配管

工を呼ばなければならなかった)。①call off は「～を中止する」、②call for は「～を要求する」、③call on は「(人を)訪ねる」という意味です。

◆補足：call in には、ラジオやテレビ番組に「電話を入れる」という意味もあります。また、製品のリコール（自主回収）を発表する際にも使われます。

19.

解答 ③

【解説】

正解は③on the spot です。この表現は、出来事が起こったまさにその場所で、あるいは少しの時間もおかずに即座に、という意味で使われます。He was hired on the spot. (彼はその場で採用された)。

①hit the spot は「(食べ物などが)まさに欲しいものだ、満足させる」、②in a tight spot は「苦境に陥って」、④soft spot for は「～が大好きだ、～に甘い」という意味のイディオムです。

◆補足：on the spot には、もう一つ「(質問などで)窮地に立たされて」という意味もあります。The reporter's question put the politician on the spot. (記者の質問はその政治家を窮地に立たせた)。文脈によって意味を判断する必要があります。

20.

解答 ①

【解説】

正解は①stable です。この形容詞は、物事がしっかりと固定されていて「安定した」状態や、状況や人の感情などが大きく変動せず「落ち着いた」状態を表します。a stable relationship (安定した関係) や a stable economy (安定した経済) のように使います。②subtle は「微妙な」、③single は「単一の」、④swift は「速い」という意味です。

◆補足：stable の名詞形は stability (安定、安定性) です。対義語は unstable (不安定な) です。stable は元々、家畜を飼う「馬小屋、牛舎」を意味する名詞でもあり、そこから「どっしりと安定している」という形容詞の意味が生まれました。

21.

解答 ①

【解説】

正解は①「とりわけ、何よりも」です。above all は、多くの事柄の中で最も重要であることを強調する際に使われます。more than anything else と同じ意味です。Above all, you must be honest. (何よりも、あなたは正直でなければならない)。

②「結局は」は after all、③「全く～ない」は not at all、④「突然に」は all at once が適切な表現です。

◆補足：above（～の上に）と all（すべて）という単語の組み合わせから、「すべてのもののの上に位置する」→「最も重要である」というニュアンスをイメージすると覚えやすいでしょう。文頭、文中、文末のいずれにも置くことができます。

22.

解答 ①

【解説】

正解は①with ease です。この表現は、副詞の easily とほぼ同じ意味で、何かを「たやすく、楽々と」行う様子を表します。She passed the exam with ease.（彼女は楽々と試験に合格した）。②with care は「注意して」、③with pleasure は「喜んで」、④with confidence は「自信をもって」という意味です。

◆補足：ease は名詞で「容易さ、気楽さ」を意味します。動詞としては「～を和らげる、楽にする」という意味があります。at ease で「くつろいで」という形容詞句になります。with + 抽象名詞で副詞の働きをする表現は他にも多くあり（例：with difficulty = difficultly）、まとめて覚えておくことで表現の幅が広がります。

23.

解答 ①

【解説】

正解は①「方法」です。method は、何かをするための、特に体系的で確立された「方法、方式」を指します。a new method of teaching（新しい教授法）のように使います。②「動機」は motive、③「瞬間」は moment、④「気分」は mood です。

◆補足：method の類義語に way や manner があります。way が最も一般的な「やり方」を指すのに対し、method はより計画的で、理論に基づいた「方法」というニュアンスがあります。manner は、行動の「仕方、流儀」というニュアンスで使われることが多いです。

24.

解答 ③

【解説】

正解は③combine です。この動詞は、二つ以上のものを一つに「結合させる、組み合わせる」ことを意味します。This course combines language study with cultural activities.（このコースは語学学習と文化活動を組み合わせている）。①compete は「競争する」、②complain は「不平を言う」、④compare は「～を比較する」という意味です。

◆補足：combine の名詞形は combination（組み合わせ）です。語源は、com-（共に）とラテン語の bini（二つずつ）で、「二つのものを共にする」というのが元の意味です。

25.

解答 ③

【解説】

正解は③decrease です。この動詞は、自動詞として「減少する」、他動詞として「～を減らす」の両方の意味を持ちます。The number of students has decreased. (生徒数が減少した)。①release は「～を解放する」、②increase は「増加する」で、decrease の対義語です。④cease は「～をやめる、終わる」という意味のやや硬い言葉です。

◆補足：decrease の名詞形も decrease (発音は/di:kri:s/) で、「減少」を意味します。動詞の発音は /di:kri:s/ で、アクセントの位置が異なる点に注意が必要です。類義語の reduce は他動詞として「～を減らす」という意味で使われるのが主です。

26.

解答 ②

【解説】

正解は②「手術」です。operation は多義語ですが、patient (患者) や doctor (医者)、hospital (病院) といった医療の文脈では、ほぼ常に「手術」を意味します。例文は「その患者は緊急手術が必要だ」となります。①「運営」、③「操作」、④「軍事行動」も operation の重要な意味ですが、この文脈には合いません。

◆補足：operation の動詞形は operate で、「手術する」「操作する」「運営する」など、名詞の意味に対応した動詞です。a delicate operation (繊細な手術) や undergo an operation (手術を受ける) といった表現も覚えておきましょう。

27.

解答 ①

【解説】

正解は①determine です。この動詞は、証拠や事実に基づいて何かを「決定する、決心する」という意味や、調査などによって原因や事実を「正確に知る、突き止める」という意味で使われます。The police are trying to determine the cause of the fire. (警察は火事の原因を突き止めようとしている)。②decline は「断る、減少する」、③define は「～を定義する」、④distribute は「～を分配する」という意味です。

◆補足：determine と decide はどちらも「決める」と訳せますが、decide が個人的な選択のニュアンスが強いのに対し、determine はより客観的な事実に基づいて、あるいは固い決意をもって「決定する」というフォーマルな響きがあります。名詞形は determination (決意、決定) です。

28.

解答 ④

【解説】

正解は④extensive です。この形容詞は、範囲や規模、量が「広範囲にわたる、大規模な」ことを示します。extensive knowledge（幅広い知識）や extensive damage（広範囲にわたる被害）のように使います。①exclusive は「排他的な、独占的な」、②expensive は「高価な」、③expressive は「表現力豊かな」という意味です。

◆補足：extensive は動詞 extend（～を広げる、延長する）の関連語です。extend の名詞形は extension（延長、拡張）です。これらの派生語をまとめて覚えると語彙力が強化されます。

29.

解答 ③

【解説】

正解は③analyze です。この動詞は、データ、問題、物質などを詳細に調べ、その本質や構造を理解しようとすることを意味します。We need to analyze the data carefully.（我々はそのデータを注意深く分析する必要がある）。①apologize は「謝罪する」、②advertise は「～を宣伝する」、④paralyze は「～を麻痺させる」という意味です。

◆補足：analyze の名詞形は analysis（分析）です。複数形は analyses と不規則な変化をするので注意が必要です。語源はギリシャ語の ana-（上に、さかのぼって）と lysis（分解する）で、「さかのぼって分解すること」が元の意味です。

30.

解答 ②

【解説】

正解は②「酸っぱい」です。sour は、レモンやヨーグルトなどの「酸っぱい」味を表す形容詞です。This lemon is very sour.（このレモンはとても酸っぱい）。①「甘い」は sweet、③「苦い」は bitter、④「しょっぱい」は salty です。これらは味覚を表す基本的な単語として重要です。

◆補足：sour は、牛乳などが腐って「酸っぱくなった」状態を表したり、人の表情や態度が「不機嫌な、気難しい」ことを比喩的に表したりもします。a sour look（不機嫌な顔）。動詞としては go sour で「（牛乳などが）腐る、計画などがダメになる」という意味になります。

31.

解答 ②

【解説】

正解は②「器具」です。instrument は、科学的な作業や医療、精密な作業で使われる専門的な「器具、道具」を指します。例文は「歯医者は私の歯をきれいにするために鋭い器具を使った」という意味です。①「楽器」(musical instrument) も instrument の重要な意味ですが、この文脈には合いません。③「道具」(tool) はより一般的で、ハンマーやドライバーなども含みます。④「指示」は instruction です。

◆補足：instrument は、目的を達成するための「手段」という比喩的な意味で使われることもあります。例：Language is an instrument for communication. (言語はコミュニケーションのための手段である)。

32.

解答 ②

【解説】

正解は②strengthen です。この動詞は、名詞 strength (強さ) に、動詞化する接尾辞-en がついた形で、物理的な力、組織、関係、意見などを「強化する、強くする」ことを意味します。This exercise will strengthen your leg muscles. (この運動はあなたの脚の筋肉を強化するでしょう)。①widen は「～を広げる」、③threaten は「～を脅かす」、④shorten は「～を短くする」という意味です。

◆補足：接尾辞-en は、形容詞や名詞の後ろについて「～にする」という動詞を作ります。strong → strengthen (強くする)、weak → weaken (弱くする)、wide → widen (広くする)、short → shorten (短くする) など、多くの例があります。これらをまとめて覚えると語彙を効率的に増やせます。

33.

解答 ④

【解説】

正解は④instantly です。この副詞は、何かが「即座に、直ちに」起こることを示し、`immediately` とほぼ同じ意味で使われます。When she saw the message, she instantly knew something was wrong. (そのメッセージを見たとき、彼女は即座に何かがおかしいとわかった)。①constantly は「絶えず」、②frequently は「頻繁に」、③recently は「最近」という意味です。

◆補足：instantly は形容詞 instant (即座の) の副詞形です。instant noodles (インスタントラーメン) や instant coffee (インスタントコーヒー) の「インスタント」は、「お湯を注げばすぐにできる」という意味でこの単語が使われています。as soon as と似た意味を表す接続詞としても機能することがあります。

34.

解答 ④

【解説】

正解は④「～を採用する」です。**adopt** は、新しい考え、計画、方法などを、検討した上で正式に「採用する、採択する」という意味で使われます。この例文は「その会社は新しいマーケティング戦略を採用することを決定した」となります。①「～を適応させる」は **adapt** で、**adopt** と混同しやすい最重要単語です。②「～を追加する」は **add**、③「～を称賛する」は **admire** です。

◆補足：**adopt** にはもう一つ、「～を養子にする」という重要な意味があります。**They decided to adopt a child.** (彼らは子供を養子にすることに決めた)。名詞形は **adoption** (採用、養子縁組) です。

35.

解答 ②

【解説】

正解は②**get together** です。この句動詞は、友人や家族などが、楽しむために、あるいは特定の目的のために「集まる、会合する」ことを意味します。**Let's get together for dinner sometime.** (いつか夕食に集まろうよ)。①**get over** は「(困難や病気などを) 乗り越える」、③**get along** は「(with ~で) ~と仲良くやる」、④**get away** は「逃げる、休暇で出かける」という意味です。

◆補足：**get-together** とハイフンでつなぐと、「(非公式な) 集まり、パーティー」という名詞として使うことができます。例：**We're having a small get-together at my place.** (私の家で小さな集まりを開きます)。**gather** も「集まる」という意味ですが、**get together** の方がより口語的で、非公式な集まりのニュアンスがあります。

36.

解答 ②

【解説】

正解は②「複雑な」です。**complicated** は、多くの部分や要素が絡み合っていて、理解したり扱ったりするのが難しい状態、すなわち「複雑な、込み入った」ことを表す形容詞です。**The rules of the game are too complicated.** (そのゲームのルールは複雑すぎる)。①「完成した」は **completed**、③「献身的な」は **dedicated**、④「関連した」は **related** です。

◆補足：**complicated** は動詞 **complicate** (～を複雑にする) の過去分詞から来ています。類義語の **complex** も「複雑な」ですが、**complex** が客観的に「複合的」である状態を指すのに対し、**complicated** は「ややこしくて分かりにくい」という、話者のネガティブな気持ちを含むことがあります。

37.

解答 ①

【解説】

正解は①private です。この形容詞は、政府や公の機関ではなく、個人や特定のグループに所有・利用される状態を指します。a private school（私立学校）や private property（私有財産）のように使います。④public は「公の、公共の」で、private の対義語です。②proper は「適切な」、③primary は「主要な、第一の」という意味です。

◆補足：private には、「私的な、個人的な」（例：private life 私生活）や「秘密の、内密の」（例：a private conversation 内密な会話）といった意味もあります。名詞形は privacy（プライバシー）です。in private で「内緒で、個人的に」という副詞句になります。

38.

解答 ②

【解説】

正解は②「状況」です。situation は、特定の時間と場所における一連の出来事や状態、すなわち「状況、事態、立場」を意味します。We are in a difficult situation.（私たちは困難な状況にある）。①「解決策」は solution、③「満足」は satisfaction、④「提案」は suggestion や proposal です。

◆補足：situation と似た単語に circumstance がありますが、circumstance は複数形

（circumstances）で使われることが多く、個々の「事情」や「境遇」を指すのに対し、situation は全体的な「状況」を指すニュアンスがあります。a win-win situation（双方に利益のある状況）のような表現も覚えておくと便利です。

39.

解答 ②

【解説】

正解は②work on です。この句動詞は、プロジェクト、課題、修理など、ある程度の時間や労力を要する対象に「取り組む」ことを意味します。I need to work on my presentation for tomorrow.（私は明日のプレゼンテーションに取り組む必要がある）。①work out は「（問題が）解決する、うまくいく」や「運動する」、③work for は「～のために働く、～に勤めている」、④work with は「～と一緒に働く」という意味です。

◆補足：work on ~は、特定の目的を持って、継続的に努力を注ぐニュアンスを表します。work on a problem（問題に取り組む）や work on improving my English（英語の上達に取り組む）のように、具体的な目標と共に使われることが多いです。

40.

解答 ②

【解説】

正解は②automatic です。この形容詞は、機械などが人の手を介さずに、あるいは無意識的に「自動的に」作動する様子を表します。an automatic door（自動ドア）や an automatic reply（自動返信）のように使います。①dramatic は「劇的な」、③systematic は「体系的な、計画的な」、④problematic は「問題のある」という意味です。

◆補足：automatic の副詞形は automatically（自動的に）です。語源はギリシャ語の autos（自己）と matos（動く意志）から来ており、「自分の意志で動く」というのが元の意味です。名詞としては、オートマチック車を指して an automatic と呼ぶこともあります。

41.

解答 ④

【解説】

正解は④specialized です。この形容詞は、動詞 specialize（専門にする）の過去分詞から来ており、特定の分野や目的に「特化した、専門的な」状態を表します。a specialized tool（特殊な道具）や specialized knowledge（専門知識）のように使います。①socialized は「社会化した」、②generalized は「全般的な」、③civilized は「文明化した」という意味です。

◆補足：specialized in ~の形で「～を専門とする」と表現することもできます。This hospital is specialized in cancer treatment.（この病院はがん治療を専門としている）。名詞形は specialization（専門化）です。special（特別な）という単語から意味を類推することができます。

42.

解答 ②

【解説】

正解は②carry out です。この句動詞は、計画、任務、実験、調査などを「実行する、遂行する」という意味で広く使われます。The scientist carried out an important experiment.（その科学者は重要な実験を行った）。①carry on は「～を続ける」、③figure out は「～を理解する、解明する」、④find out は「～を見つけ出す、知る」という意味です。

◆補足：carry out の類義語に execute や implement があります。これらは carry out よりもフォーマルな響きを持つ単語で、ビジネスや公的な文脈でよく使われます。out には「最後まで完全に」というニュアンスがあり、carry out で「最後まで運びきる」→「やり遂げる」というイメージを持つと覚えやすいでしょう。

43.

解答 ①

【解説】

正解は①「…を当然のことと思う」です。take it for granted that...は、…という事実を、疑ったり感謝したりすることなく「当たり前なことだと思い込む」という態度を表します。We often take it for granted that we have clean water. (私たちはきれいな水があることを当たり前だと思いがちだ)。②「…を真剣に受け止める」は take it seriously、③「…を個人的なものと捉える」は take it personally、④「気楽に考える」は take it easy です。

◆補足：granted は動詞 grant (～を認める) の過去分詞です。「…であることが認められていると見なす」というのが直訳的な意味合いです。it は that 節の内容を指す形式目的語です。

44.

解答 ③

【解説】

正解は③「身体の、物質の」です。physical は、精神 (mind) や魂 (spirit) と対比して「身体の、肉体の」という意味で使われます。また、目に見えない概念と対比して「物質の、物理的な」という意味でも使われます。physical exercise (身体運動) や the physical world (物質世界) がその例です。①「精神的な」は mental、②「社会的な」は social、④「財政的な」は financial です。

◆補足：physical の名詞形は physique (体格) や physics (物理学) です。physical education (体育) は P.E. と略されます。a physical examination で「健康診断」を意味するのも重要な表現です。

45.

解答 ①

【解説】

正解は①「生産」です。production は、商品や作物などを「生産、製造」すること、またその「生産高」を意味します。car production (自動車生産) や mass production (大量生産) のように使われます。②「紹介」は introduction、③「保護」は protection、④「昇進」は promotion です。

◆補足：production の動詞形は produce (～を生産する) です。名詞形には他に producer (生産者) や product (製品) があり、これらは全て経済の文脈で頻出する重要語です。また、production は演劇や映画などの「上演、制作」という意味でも使われます。

46.

解答 ④

【解説】

正解は④「～を行う」です。conduct は、調査、実験、会議などを計画的に「実施する、行う」という意味で使われる、ややフォーマルな動詞です。①「～を指揮する」(例：conduct an orchestra)、②「～を案内する」(例：conduct a tour)、③「(熱や電気を) 伝える」(例：conduct heat) も conduct の重要な意味ですが、この文脈には合いません。

◆補足：conduct の名詞形は、アクセントが前に移動して/kándakt/（コンダクト）となり、「行い、行為」や「運営方法」を意味します。また、a code of conduct で「行動規範」となります。動詞の類義語 do や carry out よりも、conduct はより公式で大規模な活動のニュアンスがあります。

47.

解答 ②

【解説】

正解は②「～を満たす」です。meet は「～に会う」という基本的な意味の他に、要求、基準、期待などを「満たす、かなえる」という意味で非常によく使われます。この例文は「その新製品は顧客の基準を満たさなかった」となります。①「～に会う」は meet の最も基本的な意味ですが、この文脈には合いません。③「～を経験する」は experience、④「～を意味する」は mean です。

◆補足：「～を満たす」という意味での meet は、meet the demand（需要を満たす）、meet the requirements（必要条件を満たす）、meet a deadline（締め切りに間に合わせる）など、ビジネスや学術的な文脈で頻出します。

48.

解答 ④

【解説】

正解は④「連絡」です。contact は、人と人との「接触、連絡」を意味する不可算名詞です。have contact with ~（～と連絡がある）や lose contact with ~（～と連絡が途絶える）といった形でよく使われます。①「契約」は contract、②「文脈」は context、③「内容」は content で、いずれも contact と音が似ているので注意が必要です。

◆補足：contact は動詞としても「～と連絡を取る」という意味で使われます。その場合、contact は他動詞なので後ろに with などの前置詞は不要です（例：Please contact me by email.）。contact information で「連絡先情報」を意味します。

49.

解答 ④

【解説】

正解は④「適切に、きちんと」です。properly は、正しい方法で、または社会的に受け入れられるやり方で物事が行われることを示す副詞です。「適切に、ちゃんと、きちんと」などと訳せます。Please make sure the machine is working properly.（その機械がきちんと作動しているか確認してください）。①「おそらく」は probably、②「個人的に」は personally、③「迅速に」は promptly です。

◆補足：properly は形容詞 proper（適切な、ふさわしい）の副詞形です。proper の対義語は improper（不適切な）であり、その副詞形 improperly（不適切に）も合わせて覚えておくとういでしょう。

50.

解答 ②

【解説】

正解は②「～に打ち勝つ」です。overcome は、困難、障害、悪い感情などを努力によって「克服する、～に打ち勝つ」ことを意味します。She overcame many difficulties to achieve her dream.（彼女は夢をかなえるために多くの困難に打ち勝った）。①「～を見落とす」は overlook、③「～を追い越す」は overtake、④「～を覆す」は overturn が適切な単語です。

◆補足：overcome の過去形は overcame、過去分詞形は overcome と、come と同じ不規則な変化をします。be overcome with/by ~という受動態の形で、「(感情) に圧倒される、我を忘れる」という意味になる用法も重要です。例：I was overcome with joy.（私は喜びに我を忘れた）。
